

とても大切なお話（1）

敷津小学校 校長 原 雅史



敷津小学校のじ童のみなさんこんにちは。

このたび、前の糸井校長先生に代わって4月から新しく校長になった原雅史といいます。顔も見たことのない校長先生から、話なんか聞きたくないと言うじ童もいるかもしれません、とても大切なことなので、さい後までしっかり読んでください。

今、日本はとても大へんなことになっています。新がたコロナウィルスのえいきょうと言うのは、みなさんもなんとなく知っていると思いますが、校長先生をはじめすべての大人たちもこんなことははじめて、みんなどうしていいかこまっています。学校が始まらないと言うだけではなく、デパートや図書館などもあいていません。今までこんなことは、日本だけではなく

世界でもありえなかつたことなのですが、げん実に今おこっています。いま、とんでもないことが世界中でおこっていると思ってください。

学校も5月6日まで一おうお休みとしていますが、じゃあその後すぐに学校が始められるかと言うと、むずしいと予想している人もいます。こればかりは、コロナウィルスがこのあとどうなるかしだいで、だれもわかりません。

もちろん、校長先生は学校がはやく始まってほしいとねがってはいますが、ひよつとしたらお休みが長引くかもしれません。

そこでみなさんにはこれから2つの大切なおねがいをいたします。

(つづきは、あしたいこうにのせます)